

## 【樹木の部屋】

タラヨウ (モチノキ科モチノキマツ属 Ilex latifolia)

**和名**：タラヨウ (多羅葉) **別名**：ハガキノキ **英名**：Tarajo

ニシキギ目 常緑広葉樹・高木 **原産地**：日本、中国

**花言葉**：伝える **花の色**：淡黄緑色



← 写真-1 タラヨウ

撮影日：2016年05月21日

撮影場所：上賀茂神社(京都市)にて

撮影者：M さん



→ 写真-2 タラヨウの花後

撮影日：2016年05月21日

撮影場所：上賀茂神社(京都市)にて

撮影者：M さん



← 写真-3 タラヨウの葉

撮影日：2016年05月21日

撮影場所：上賀茂神社(京都市)にて

撮影者：M さん

京都市の上賀茂神社境内を散策中に見かけました。本州中部以西を原産地とする常緑樹。大きくて厚い葉は裏面を細い棒などで傷付けると、傷付いた部分だけが黒く残る性質があり、戦国時代にはこの性質を利用して情報のやり取りをしたことから、「ハガキノキ」という別名があります。郵便局の木とされ郵便局前に植栽されることもあるそうです。また、ハガキ（葉書）の語源になったという説もあり、現代でも定形外郵便としてハガキに利用できるそうです。

#### <ちょっと一言>

弘法大師がこれを用いて字の勉強をした「学問の木」とされ、寺社に植栽されることも多いようですが、本来、インドで経文を書くのに使われたのは「タラヨウジュ(オオギヤシ)」(あるいは「タラジュ」)というヤシ科の植物であり、本種はこれにちなんで命名されたに過ぎないそうです。